勝力（かつりょく）ある室蘭への挑戦

平成23年度　まちの方針と予算

市政方針を説明する青山市長

「市民感覚で市政に新しい風を吹き込みながら、
『勝力』ある室蘭づくりに挑戦していきます」。
青山市長は第２回市議会定例会の本会議で、
今後４年間の市の施策の方向性を示す市政方針を説明しました。
その概要と今年度の事業予算をお知らせします。

はじめに

このたびの統一地方選挙において、室蘭市長に初当選し、市政運営の重責を担うこととなりました。責任の重さに身の引き締まる思いです。

選挙期間中は、多くの市民とお会いし、まちづくりに関するさまざまな声や願い、夢を伺う中で、市民感覚の市政運営の必要性を強く感じるとともに、市民の安心した暮らしを実現するために、直面する諸課題に立ち向かい、子どもからお年寄りまで安心して希望の持てるまちづくりを進めることを、あらためて決意しました。

基本姿勢

本市の財政運営においては、これまでも不断の行財政改革を進めてきましたが、行財政改革は終わることのない重要課題であり、加えて、東日本大震災による地方財政への影響も懸念されることから、今後も、不良債務の早期解消をはじめとした行財政改革を推進し、市民との協働による市民感覚での施策の立案を図りながら、責任ある市政運営に努めます。

また、少子高齢化や人口減少などにより地域の活力が失われつつある中で、国においては、地域の自主性と自立性を高めるための地域主権関連３法案が成立し、今後は地域の責任と役割が一層求められてきます。

こうした時代背景にあって、現在、本市が抱える諸課題に立ち向かいつつ、室蘭が持つさまざまな財産を生かし、未来に希望の持てるまちづくりに取り組んでいきます。

子どもからお年寄りまで安心して希望のもてるまち

一人暮らしのお年寄りや障がい者が安心できる環境づくり

地域での見守りや元気に暮らすことができる環境づくりなど、地域や企業との連携による支え合いの仕組みづくりを進めるとともに、障がい者の自立と社会参加の促進に取り組み、一人暮らしのお年寄りや障がい者が安心して生活を送ることができる環境づくりを進めます。

【主な施策と予算】

消費生活安心サポート事業	874万円
認知症高齢者グループホーム建設等補助	6,711万円
親子の遊び教室開設	51万円

災害に強いまちづくり

国や北海道から示される地震や津波対策の見直しに合わせ、室蘭工業大学をはじめ、関係機関とも連携しながら、津波災害防止や避難対策に係る地域防災計画の見直しを行うとともに、公共施設および民間施設の耐震化促進、さらに市内の大雨浸水対策を強化するなど、災害に強いまちづくりを進めます。

昨年の大雨で冠水した輪西地区

【主な施策と予算】

南高平川改修基本計画策定	800万円
大雨状況調査業務	480万円
道路雨水側溝等安全確認調査業務	883万円

コミュニティーバス事業の取り組み

高齢者の外出を支援し、元気な暮らしと社会参加を支えるため、コミュニティーバスの運行など路線バスを補完する交通体系の検討に着手します。

【主な施策と予算】

地域公共交通活性化推進事業	77万円

地域医療連携と地域に見合った医療供給体制の構築

本市は3総合病院を中心に、比較的医療施設が集積していますが、医師の減少や看護師の不足、救急医療の負担増加などの課題もあることから、各医療機関の連携を促進しながら医療供給体制の確保と充実を図ります。

市立室蘭総合病院

【主な施策と予算】

市立病院電子カルテ導入整備事業	7億3,500万円
市立病院高度治療室併設救急外来拡充整備事業	3億3,100万円
市立病院看護師確保事業	600万円
働く世代への大腸がん検診推進事業	1,148万円
肝炎ウイルス検診推進事業	1,049万円
子宮頸がん等ワクチン接種事業	7,641万円

世界に通じる子どもたちの育成

国際交流の推進や留学生との交流機会の創出を図りながら、子どもたちの世界への関心を高め、視野を広げます。

【主な施策と予算】

ノックスビル市訪問団歓迎経費	106万円

教育環境の整備

小・中学校などの教育環境の整備や、学力・体力向上に取り組みます。

また、学校図書の整備や読み聞かせ機会の拡充など、読書環境の充実を図り、未来に向けた子どもたちの可能性を広げます。

【主な施策と予算】

絵鞆・桜が丘・武揚統合小学校建設事業	523万円
小・中学校フッ化物洗口経費	135万円
給食センター調理台等更新	638万円

公共施設等の整備

【主な施策と予算】

母恋会館トイレ洋式化改修	330万円
保健福祉部分庁舎屋上防水	600万円
望洋台霊園慰霊塔改修	1,734万円
看護学院体育館暖房改修	1,149万円
水族館本館外壁改修	999万円

都市基盤の充実

【主な施策と予算】

道路整備（白鳥台東西通線改修など）	3億5,635万円
公園整備（高砂1丁目公園改修）	3,000万円
港湾整備（保安対策施設整備など）	2,830万円

環境対策

【主な施策と予算】

省エネ型街路灯設置助成額拡大	190万円
微量PCB混入変圧器等分析調査	201万円
大気汚染測定局移転整備事業	391万円

まちなか再生の推進

公共施設跡地の活用

昨年策定した跡地利用計画を基本に、利用方針の検討を進めていくとともに、商店街のにぎわい創出や地域活動の促進に係る利用については、今後、市民の皆さんの知恵もいただきながら検討を進めます。また、市民主体の「まちづくり協議会」の設置に向け、市民参加を促進し、市政への参加意識の高揚とまちづくりの人材育成を図ります。

【主な施策と予算】

寿町市営住宅整備　2億7，026万円

心が通う魅力ある商店街づくり

コミュニティー機能の向上や新規出店の支援など、商店街などの行う創意工夫を凝らした取り組みを応援し、地域住民が行き交い、心が通う魅力ある商店街づくりを進めます。

お元気講座などの開催でコミュニティー機能を持つ商店街づくりを進める「ふれあいサロンほっとな～る」（中島町）

【主な施策と予算】

商店街コミュニティー拠点施設支援事業　130万円

老朽危険家屋への取り組み

今後も危険家屋の増加が予想されることから、所有者不在の場合の法的手続きの簡素化など、国に対して法整備などを要請するとともに、危険家屋を未然に防ぐ方策や、撤去後の土地利用の方策について検討を進め、中長期的な視点で老朽危険家屋対策に取り組みます。

地域活動・市民活動が盛んなまちづくり

世代を超えたコミュニティーづくり

一人暮らしのお年寄りの増加や核家族化が進む中で、家族や地域の絆が薄れつつあり、社会のさまざまな場面にひずみが生じています。

本市では、高齢者たすけ隊・見守り隊や、雪かきレンジャーなど、人や地域との新たな支え合いやつながりが生まれており、さまざまな団体が参加する地域活動の活性化に向けて、世代間交流の拠点づくりや支え合いの仕組みづくりなど、各団体などが地域の課題解決に向けて取り組む事業を支援します。

また、人と人、人と地域、人と企業を結ぶ「縁結び市長」として、若者同士の交流や元気ある働き盛り世代の異業種間の人材交流、さらに、お年寄りの安心を支える地域の交流など、市民や民間、地域における連携を支援します。

【主な施策と予算】

コミュニティー活動助成制度補助　250万円

文化・スポーツに触れ合い、参加しやすい環境づくり

文化やスポーツの鑑賞機会の充実や活動拠点としての施設の環境整備を図るとともに、多様な文化芸術活動や体力づくり・健康づくりの機会を通して、市民の豊かな暮らしと元気な暮らしを応援します。

【主な施策と予算】

南部藩モロラン陣屋跡排水施設等改修　1，623万円
市民会館舞台装置改修　153万円
入江温水プール配管等改修　7，980万円

魅力ある港づくり

シップリサイクル事業の支援

これまで進めてきた環境産業拠点形成を推進し、リサイクルポートの機能を生かした新たな静脈産業創出のため、シップリサイクルの事業化について、関係機関と連携を図りながら、積極的に推進するとともに、港湾物流の振興を図り、活気あふれる港づくりの推進のため、北海道新幹線時代に対応した室蘭港における鉄道貨物輸送取り扱いの可能性を検討します。

【主な施策と予算】

シップリサイクル事業支援（国際シンポジウム開催費補助）　20万円

昨年開催されたシップリサイクル国際シンポジウムin室蘭

夜景観光の推進

港を囲む工場夜景の魅力を、より一層全国に発信できるよう、市民参加による情報発信やPRを検討するとともに、道の駅「みたら室蘭」を交流や情報の発信拠点として、市民や観光客が集い、にぎわいあふれる魅力ある施設にリニューアルします。

札幌圏の観光客を対象に行われた夜景モニターツアー（写真は祝津展望台）

【主な施策と予算】

白鳥大橋イルミネーション等制御システム改修　1，340万円

産学官民の連携強化

大学発の技術を地域で応援

地域の知の拠点である室蘭工業大学では、ロボットアリーナやシップリサイクルなど、次の時代を担う新たな技術開発が進められており、これらの取り組みを積極的に支援するとともに、室蘭工業大学地域共同研究開発（CRD）センターと室蘭テクノセンターとの連携をより一層強化し、地域新産業創出の芽を作り出します。

ロボットアリーナで開催されている
ロボット組み立て体験教室

【主な施策と予算】

大学連携推進経費（ロボットアリーナ開設1周年記念事業費）　10万円

産業競争力の強化に向けた支援

地域中小企業の環境産業を含めた新分野への展開について、室蘭テクノセンターのコーディネート機能を生かしながら支援するほか、環境・ものづくり産業を支える人材を育て、若者の地元定着と雇用の確保に取り組みます。

また、国の支援施策の積極的活用による地域基盤技術のさらなる高度化、ものづくりのグローバル化に対応した地元企業の情報発信や、付加価値の高いものづくりへの展開などを戦略的に進めるため、室蘭テクノセンターの総合力を高めながら、産業競争力の強化に向けた支援を行います。

【主な施策と予算】

適職フェア開催経費　500万円

行財政改革と市民に望まれる公共サービスを目指して

老朽化が進んでいる主な公共施設については、今年度実施する耐震診断の結果を踏まえ、財政状況を勘案しながら施設の在り方について検討し、全ての世代が集うための拠点となる複合公共施設について、市民の皆さんとの議論を進めていきます。

また、東京事務所の役割を検証し、人員配置の見直しや維持管理費の軽減など、運営方法について検討します。

これからの自治体経営に携わる職員には、新しい地域社会をつくる情熱と政策形成能力、加えて市民の目線を常に忘れない心掛けも必要なことから、室蘭工業大学と連携した政策形成能力の向上や、近隣市町との共同による職員研修の充実、さらに、これからの市役所を担っていく若手職員には、私と一緒に地域に飛び出て、さまざまな団体と交流を深めネットワークを築いてもらうなど、市民に親しまれる職員の育成に取り組みます。

室蘭工業大学と連携した政策プロセスマネジメント研修では、職員が市長の立場となり政策を提言

西胆振地域の取り組み

昨年9月に、西いぶり定住自立圏形成協定を締結し、本年度が連携事業開始の年となることから、昨年度策定した定住自立圏共生ビジョンに掲げた21の連携事業について、中心市としての役割と責任をしっかりと自覚しながら、着実に実施するとともに、さらなる連携内容の充実に取り組みます。

また、本年度は連携のスタートとして、主に行政間の連携を中心に進めていきますが、定住自立圏で目指している地域の魅力向上や経済の活性化を図るためには、企業や団体、市民レベルでの交流促進を図ることも重要であり、今後は、民間を交えた地産地消の促進や文化・芸術活動における市民交流の活発化など、幅広い連携を進めます。

西いぶり定住自立圏とは？

中心市である室蘭市と登別市・伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町がそれぞれのまちの特性を生かし、連携、協力することで、自分のまちに少ないものを補い合い、定住のための暮らしに必要な諸機能を確保するとともに、地域資源を活用した経済の活性化と交流の促進を図りながら、圏域として魅力あふれる地域を形成し、定住につなげていくことを目指す取り組みです。

今年3月には、平成23年度から5年間の取り組みを定めた「西いぶり定住自立圏共生ビジョン」を策定し、医療や防災、観光などの各分野における21の事業を定めました。

緊急的な課題への対応

東日本大震災に伴う漁業被害への対応

本市も津波によって、ホタテ貝などの養殖桁が壊滅的な被害を受けました。被災した漁業者が、通常の漁業作業に大きな遅れを生じたことから、緊急的な対応として、損害を受けた養殖漁具などの処理費用や、北海道の交付金を活用したホタテ養殖作業への支援を行いました。

今後も、復興に向けた漁業施設整備支援や経営安定化のための金融支援などについて、噴火湾沿岸の市町が一体となって北海道や関係機関へ要望しながら、対応を図ります。

東北地方太平洋沖地震による津波被害を受けた崎守漁港区のホタテの桁

長崎屋室蘭中央店の閉店発表への対応

同店は、昭和56年に旧丸井今井室蘭店が中島町に移転後、30年間にわたり蘭西地区住民の生活を支えてきた地域唯一の総合スーパーであり、突然の閉店発表を受け、ここで働く多くの従業員や入居テナント、関係業者のみならず、地域住民も大きな不安を抱いています。

営業継続を望むテナントや多くの従業員の思いと、2万5千人を超える蘭西地区住民の暮らしを支える施設として、店舗に足を運ぶ利用者の声を重く受け止め、中央地区における商業機能の維持に向けて全力で取り組みます。

補正予算の編成

このたびの補正は、限られた期間での編成となったため、政策目標全てを計上していませんが、「勝力ある室蘭」への第一歩となる施策とともに、当初予算と連動して、市民生活の向上につながる施策について、留保した財源を活用し編成しました。

今後、新たな政策についても検討を進め、年度内に段階的に予算化を図っていきます。

平成23年度予算額（6月補正後）

区分		当初予算額	6月補正予算額	計
一般会計		411億7,100万円	10億6,600万円	422億3,700万円
特別会計	国民健康保険	113億5,800万円	—	113億5,800万円
	介護保険	62億　100万円	—	62億　100万円
	後期高齢者医療	13億1,700万円	—	13億1,700万円
	小計	188億7,600万円	—	188億7,600万円
企業会計	水道事業	28億2,400万円	4,000万円	28億6,400万円
	工業用水道事業	1,900万円	—	1,900万円
	病院事業	118億3,600万円	11億2,000万円	129億5,700万円
	公設地方卸売市場事業	2億6,100万円	—	2億6,100万円
	港湾整備事業	2億4,100万円	—	2億4,100万円
	下水道整備事業	39億4,700万円	—	39億4,700万円
	小計	191億2,800万円	11億6,000万円	202億8,800万円
合計		791億7,500万円	22億2,600万円	814億円

※当初予算額には、平成23年4月補正予算額（専決処分）3,700万円を含みます。
100万円未満は四捨五入の関係で一致しない場合があります。

むすび

これからの室蘭市の未来を切り開き、困難な時代に力強く打ち勝っていく力を、**「勝力」**という言葉に込めました。

今、地方都市を取り巻く状況は、急激な少子高齢化に伴う人口減少や経済の低迷など、多くの課題を抱えており、これらの課題解決のためには、港やものづくりなど本市の持つ特性を生かし、分権型社会の到来など時代の変化を見据えながら、市民と行政、企業、大学などさまざまな連携に取り組み、時代に打ち勝つ力を磨くことが必要です。

市民感覚の市長として、市民の暮らしの中から生まれる声を大切に、一人一人の安心と、心に響く施策を推進し、多様な連携により、未来につなげるビジョンを示しながら、子どもからお年寄りまで安心して希望のもてるまちづくりを進めます。

また、選挙において提起されたさまざまな政策についても、関係団体や地域の声に真摯に耳を傾け、柔軟な対応を図ります。

まちづくりは、私一人の力で取り組むものではありません。市民の皆さんの知恵と力をいただき、国や北海道とも連携を強めながら、職員の情熱を結集することで、必ずや勝力ある室蘭づくりを実現できると考えています。

最後に、室蘭発展への熱い思いや、安心を願う市民の気持ちを胸に、市議会並びに市民の皆さんと力を合わせ、新しい室蘭づくりに取り組んでいきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

平成23年度の市政方針説明の全文は市ホームページに掲載しています。
HP http://www.city.muroran.lg.jp/main/org2200/siseihousin.html

平成23年度

教育行政方針

21世紀を切り開く心豊かで主体的に学びつづける人づくり

「『子どもたちが生き生きと輝く室蘭の教育づくり』と『生涯にわたって主体的に学ぶ環境づくり』に努めます」。
山田教育長が説明した教育行政方針の概要をお知らせします。

教育行政方針を説明する山田教育長

「生きる力」を育成する教育の推進

▼室蘭市学力向上基本計画を策定し、「学校」「家庭」「地域社会」が互いに連携し、社会全体で子どもを守り育てていく教育環境づくりを進めます。
▼本輪西小学校と旭ヶ丘小学校を研究奨励校に指定し、指導方法の工夫改善などの研究実践を行うとともに、新たに学習支援員を配置した学力向上のモデル事業を展開します。
▼若手教員の指導力向上を目指し、道教委の巡回指導教員活用事業に取り組むほか、研究推進校によるパイロットスクール公開研究会を開催します。
▼自然体験や社会体験の機会を生かしながら、子どもの良さや可能性を伸長させるとともに、人間関係づくりや自己の生き方の自覚を深める「道徳の時間」の充実を図ります。
▼新体力テストや食育についての特別授業の実施、「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推進と基本的生活習慣の改善を図り、健やかで逞しい体の育成に努めます。
▼むし歯予防を目的としたフッ化物洗口について、平成24年度の全小・中学校での実施に向け、本年度は7校の小・中学校で実施します。
▼特別支援教育について、就学相談員を増員するなど障がいのある子どもたちへの適切な指導と支援に一層取り組みます。
▼本年度から小学校の外国語活動が本格実施になることから、外国語指導助手の派遣回数を見直し、学校規模による適正配置を工夫するなど、コミュニケーション能力や国際理解教育の充実に努めます。
▼子育て相談ふれあいセンターと連携した親子遊びや、育児相談などを開催するなど、家庭教育への支援充実に取り組みます。
▼私立の幼稚園、高等学校、専修学校への支援のほか、幼稚園の建物の老朽化に伴う大規模改修事業に対する支援を行います。

安心・安全に学べる教育環境の整備

▼不審者などの情報をメールで知らせる不審者防犯システムによる注意喚起に努めるとともに、防犯教室や防犯訓練のほか、地域安全パトロール隊への情報提供と行動連携を一層進めます。
▼「いじめの根絶」に向けて、本年度から、いじめアンケート調査を年3回以上実施するなど、未然防止や早期発見・早期対応の取り組みを一層進めます。
▼不登校や虐待について、定期的な調査の回数を増やし、未然防止と早期発見・早期対応に向けた取り組みの充実を図ります。
▼不登校児童生徒の早期学校復帰に向け設置している適応指導教室3カ所に、新たに学習支援員を増員し、充実に努めます。
▼ひきこもりやニート、不登校など、子ども・若者の抱える問題の深刻化に対処するため、室蘭市青少年問題協議会の再編を行い、具体的な取り組みについて検討します。
▼八丁平地区児童クラブの旧室商会館への移設のほか、知利別スクール児童館の登録児童数の増加に対応した指導員の増員、教室の増加など、放課後児童対策の充実を図ります。
▼給食センター施設の耐震診断を実施し、施設の安全を確保するとともに、調理備品の更新と購入を行い、安心・安全な学校給食の提供に努めます。また、学校給食センター調理業務の民間委託については、平成24年度からの実施に向けて検討を進めます。
▼平成24年4月開校予定の桜蘭中学校は、増築工事のほか外構整備を行います。
▼平成25年4月開校予定の室蘭西中学校は、校舎棟及び体育館の建設工事を行います。
▼平成27年4月開校予定の中央・港南地区統合小学校の基本設計を行うほか、「第3期学校適正配置計画」に基づき学校の適正配置を進めます。

健康で充実した生活を創る生涯学習の推進

▼市民美術館で「ぐるっと美術館」を開設するほか、文化センターで三市合同文化事業の演劇公演を開催するなど、優れた美術作品や音楽・演劇などの鑑賞機会を提供します。
▼定住自立圏図書館システムの更新により室蘭市・登別市・伊達市の利用者の利便性の向上拡大を図ります。
▼八木義徳生誕100年記念事業として、港の文学館での特別展のほか記念講演会などを開催します。
▼スポーツ振興として、市民の健康増進の機会拡大や各種大会などの誘致のほか、スキー場の取得などを検討します。
▼社会教育施設の耐震診断調査を行い、調査結果を受けて施設の在り方について検討します。また、施設の指定管理者とは、定期的な協議を行い、利用者のニーズに応える魅力ある施設運営に努めます。

平成23年度の教育行政方針の全文は市ホームページに掲載しています。
HP http://www.city.muroran.lg.jp/main/org9100/h23kyouikugyouseihoushin.html